

○中部地方整備局管内の主要港湾に立地する企業に対し、平成24年2月～3月にかけてアンケート及びヒアリングを実施した。

**【アンケート内容】**

- ・各社で取り組んでいる地震・津波対策
- ・各企業の所有施設についての耐震性・液状化危険度の把握状況
- ・航路啓開や伊良湖水道航路(伊勢湾・三河湾)についての課題
- ・地震・津波対策についての意見・要望

**●地震・津波対策の実施状況に関するアンケート結果**

対策メニュー	分類	実施している対策・検討内容	全体 (36社)	三河 (5社)	衣浦 (5社)	名古屋 (6社)	四日市 (6社)	津松阪 (5社)	田子の浦 (1社)	清水 (5社)	御前崎 (3社)	
地震・津波対策への 取り組み	ソフト対策	避難計画の策定(検討中も含む)	12	0	0	2	2	2	1	4	1	
		BCPの策定(検討中も含む)	15	3	2	3	1	3	0	3	0	
		その他	14	4	2	4	3	0	0	1	0	
	ハード対策	避難場所の設置	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		耐震対策を実施	4	0	1	1	0	2	0	0	0	0
		その他	7	0	1	6	0	0	0	0	0	0
自社施設の状況把握		港湾施設の耐震性を把握	22	3	2	4	4	2	1	5	1	
		地盤状況を把握	3	0	0	0	1	1	0	0	1	0
		岸壁の嵩上げのニーズがある	4	1	1	0	1	0	0	0	1	0
船舶航行に関する 課題の認識		航路啓開の必要性	14	0	1	5	3	1	1	3	0	
		緊急離棧への課題	7	0	0	2	3	0	0	0	2	
		伊良湖水道航路の重要性	4	0	0	2	2	0	0	0	0	

# 地震・津波対策に向けた取り組みに関するヒアリング結果

## ●地震・津波対策に関する意見・要望等についてのヒアリング結果(意見・要望内容のまとめ)

----- 津松阪港関連企業様からのご意見・ご要望

項目	対策内容 (要望社数)	意見・要望内容等
津波	護岸の嵩上げ (5社)	<p>「できるだけ高く造るように」という技術基準があるとありがたい。</p> <p>県が行う護岸整備で民間負担が必要になる場合、費用負担をすることで整備が促進されるのであれば、負担額に対して補助を頂ければありがたい。</p> <p>四日市港霞ふ頭の護岸が対策できていないので、管理組合に護岸整備をやって欲しい。また、護岸の嵩上げの実施をお願いしたい。</p> <p><u>岸壁に面した護岸が低いので、嵩上げをして欲しい。</u></p> <p><u>浸水を防ぐため、防潮堤の嵩上げや液状化対策が必要。</u></p>
	防波堤の整備 (5社)	<p>名古屋港の高潮防波堤の補強の要望がある。</p> <p>高潮防波堤の耐震性・耐津波性能強化と津波到達時間・津波高さの情報入手は防災対策上の最優先課題と考えている。</p> <p>防波堤を津波に持つように強くして欲しい。</p> <p>四日市港霞防波堤の延伸(霞南ふ頭前面への設置)を望む。</p>
	その他対策 (7社)	<p>地盤の嵩上げは背後の上屋等も併せてお願いしたい。荷役機械を常時置く場所を、浸水を防ぐ高台にする補助制度があると良い。</p> <p>三河港明海地区への避難所の設置を望む。</p> <p>荷捌地、野積場の地盤の嵩上げをお願いしたい。</p> <p>避難所の確保をしてほしい。</p> <p>巨大地震が発生した際の津波高や液状化等の被害程度を知りたい。</p> <p>いろいろな地震・津波の想定がなされているが、統一的な想定として頂きたい。</p>
地震動	耐震化対策 (8社)	<p>三河港大橋の耐震対策についてしっかり実施して頂きたい。</p> <p>港湾施設の老朽化対策、岸壁の耐震対策をするにしても資金が無いため困難。</p> <p>護岸や岸壁の強度などについて、国に依頼したらシミュレーションして頂けるのか。</p> <p>臨海部にある道路及び橋梁の耐震対策をお願いしたい。対策実施を加速するようなインセンティブが働く施策を期待する。</p> <p>護岸や係留施設等の港湾施設の耐震強化が重要。特に、海岸沿いの護岸の耐震化。岸壁より護岸整備が必要。</p> <p>防潮堤の耐震化について対応して頂ければありがたい。</p> <p>防潮堤、護岸の耐震化を行って頂きたい。</p> <p><u>係留施設の耐震化までは手が着かない、手のつけようがないという状況である。</u></p>
液状化	液状化対策 (3社)	<p>港湾施設・護岸などの公共施設について、液状化対策を公的に実施して欲しい。</p> <p>護岸の液状化対策には莫大な費用がかかるため、公共的な護岸として整備を要望。</p> <p><u>埋め立て地は液状化の可能性はあるが、敷地も広く対策の立てようがない。</u></p>
	その他 (6社)	<p>液状化による被害想定が課題である。</p> <p>液状化が一番怖いので、この情報を具体的に知りたい。</p> <p>港内で液状化の高い箇所を、予め計算で出しておいて欲しい。</p> <p>巨大地震が発生した際の津波高や液状化等の被害程度を知りたい。</p> <p>棧橋下の地盤データを中部地整が所有していれば、提供頂ければ助かる。</p>

# 地震・津波対策に向けた取り組みに関するヒアリング結果

## ●地震・津波対策に関する意見・要望等についてのヒアリング結果(意見・要望内容のまとめ)

----- 津松阪港関連企業様からのご意見・ご要望

項目	対策内容 (要望社数)	意見・要望内容等
災害廃棄物	処分場の確保(1社)	大量のがれき発生に対応するため、事前に処分場所を確保しておく必要があると考えられる。
	がれき仮置き(1社)	<u>工場の敷地を瓦礫等の一次仮置きに活用することは可能である。</u>
漂流物対策	航路啓開 (16社)	被災時には海上輸送での物資の輸送が必要となるので、航路啓開は必要。 津波による漂流物対策が課題と認識している。 航路啓開は最重要と認識している。港内の奥まで航路啓開をお願いしたい。 航路啓開に期待している。(漂流物の船舶へのダメージも懸念される。) 漂流物撤去の時間的なスケジューリングを策定して欲しい。また、港の地域特性に合わせた漂流物撤去のあり方を考えて欲しい。 漂流物が出た時の回収対策の検討も重要。併せて、プレジャーボートの漂流対策も検討して欲しい。 航路の通行が出来ないと困る。 震災後も製品の海上輸送を行うためにも、航路啓開は重要である。 航路啓開などの港湾BCPは重要。海上輸送をスムーズに行うためにも、伊勢湾内を安全に航行できることが重要。 航路啓開は早期の対応が必要になると考えている。 <u>災害時において早期の航路啓開を望む。</u>
	その他 (2社)	名古屋港に特化した漂流物計算は行っていないのか。 船の運用に必要な情報(漂流物など)情報が欲しい。
GPS波浪計	(3社)	GPS波浪計の早期設置及び早急な情報発信を期待している。 GPS波浪計の情報をきちんと取れるように検討願いたい。 伊勢湾口のGPS波浪計の設置を望む。

※複数社からの重複した意見は1項目としてまとめているため、社数と意見数の合計が不一致である。

### 【アンケート・ヒアリング結果より】

- 避難計画や企業BCP等の策定状況については、企業ごとに策定状況に差が見られる。  
(避難計画の策定は清水港ではほとんどの企業で取り組んでいるが、一方で策定が進んでいない港もある。)
- ソフト対策は比較的多くの企業に取り組んでいる。ハード対策については現状を把握しているものの、対策の実施には至っていない企業が多い。
- 清水港・名古屋港・四日市港では、漂流物対策(航路啓開)を望む声が高く、関係機関と連携し早急な対応を行うことが求められている。
- 公共施設への地震・津波対策実施の要望がある一方、莫大な資金が必要になることから、企業所有施設の地震・津波対策については、苦慮している声もある。

# (参考) 企業ヒアリングから得られた地震・津波対策の課題

- ・中部地方整備局内の主要港湾に立地する企業に対し、平成24年2月～3月にかけてアンケート及びヒアリングを実施した。
- ・ヒアリングの結果、各企業が懸念する地震・津波対策における課題が明らかとなった。

